

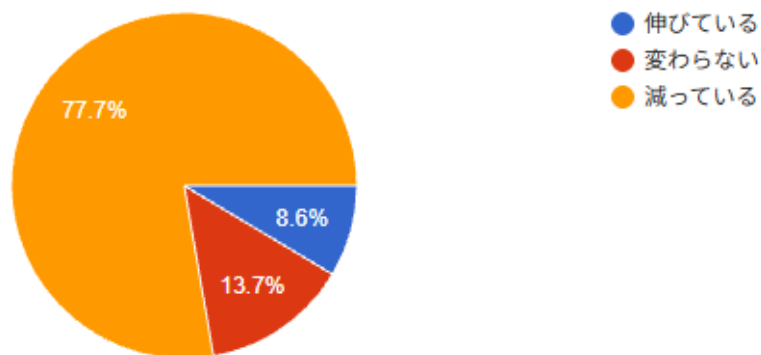
日本米穀商連合会 米穀状況調査 2026.7.15 実施

調査結果報告

調査 1. 米の販売数量について伺います。令和 8 年 4 月～6 月と令和 7 年 4～6 月を比較した場合

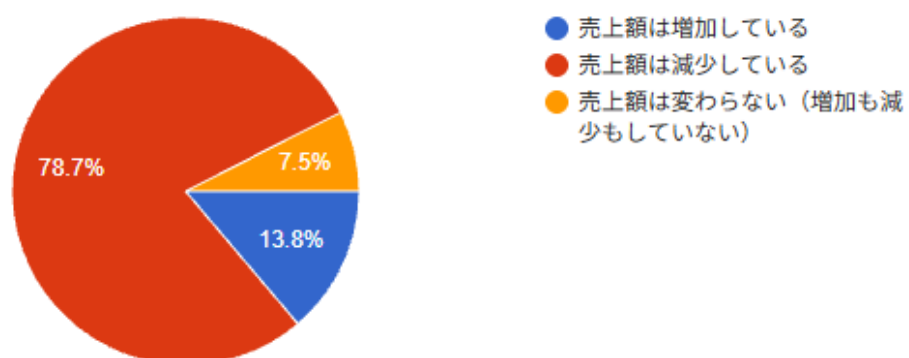
令和 8 年 4～6 月はどうお感じになりますか

175 件の回答



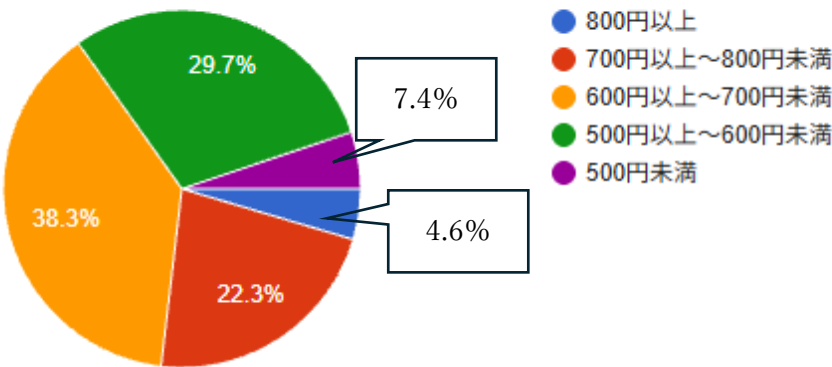
調査 2. 売上額についてお聞きします令和 8 年 3 月の売上額と令和 8 年 7 月の売上額を比較した際、状況を次の選択肢よりおえらびください。

174 件の回答



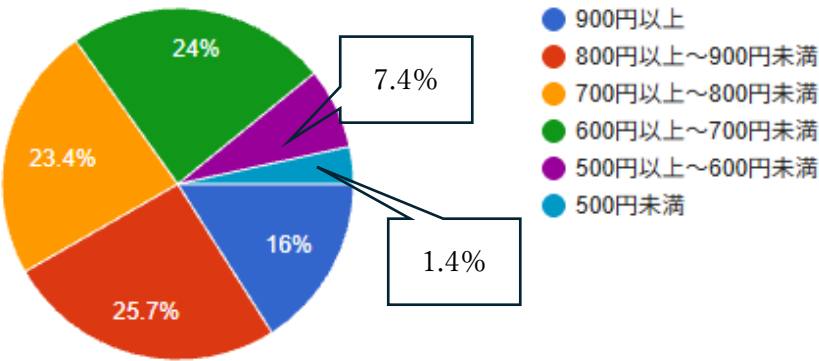
調査 3. 「業務用米」の販売価格について伺います。令和 8 年 7 月末時の 1 kg の平均価格（本体）についてお答えください。

175 件の回答



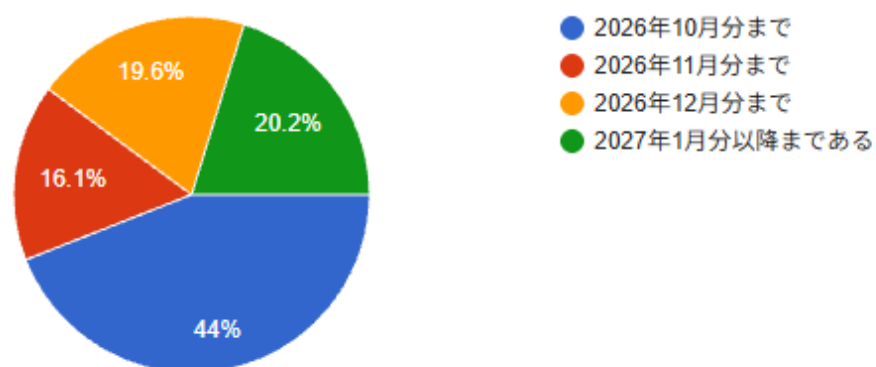
調査 4. 「家庭用米」の販売価格について伺います。令和 8 年 3 月末時の 1 kg の平均価格（本体）についてお答えください。

175 件の回答



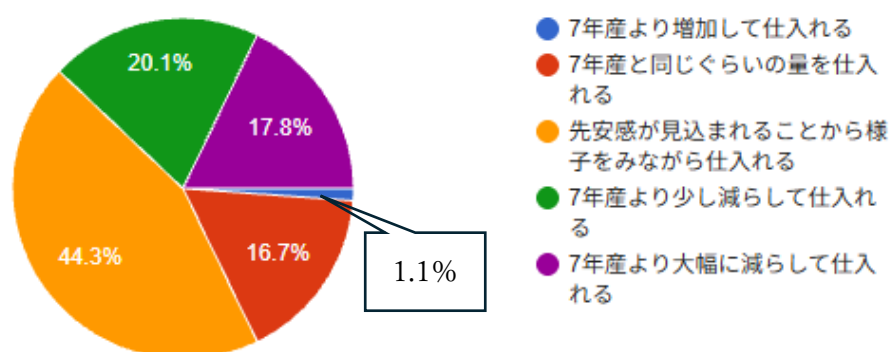
調査 5. 7 年産米の在庫量について伺います。現在の米の在庫は何月分まで所有しておりますか。

168 件の回答



調査 6.令和 8 年産米の仕入れについて伺います。現在の令和 8 年産米への仕入へのスタンスをお答え願います。

174 件の回答



その他意見

政府・政策への意見

・4月末の民間在庫が前年比で80万トンほど増えているとのこと、昨年放出された備蓄米がそっくりそのままスライドしていると言ってもよいのでは。(昨年と同レベルなら不足ではありますが、) もともと令和5年産で40万~50万トンほどが不足と言われていたなか、パフォーマンスのために過剰な放出を行い市場を歪めたことの後始末、原状回復する責任が政府にはあるのではないのでしょうか。

・物の値段は需給ギャップで決まる事が明らかになったのではないのでしょうか。米価下落を望む消費者、それでは困る生産者、物価高対策に反するから備蓄米買取を渋る政府です。第一次産業をないがしろにすると食料安全保障の崩壊になる為、農家優遇政策で収入保障をするべきではないのでしょうか

・農政の安定をお願いしたいです

買戻しへの意見

・もともとコメ小売店の単価はスーパーよりも高いものだが、5㌔1000円、10㌔2000円も違えばさすがにお客さんは離れる。一度離れたお客さんは簡単には戻らないので、この先の経営が不安だ。備蓄米買戻しはすぐにでも手を打ってもらいたい。出すのも遅ければ買戻すのも遅い。

・備蓄米の買戻しがどうなるのかが知りたい

・現状の底なし沼の様な米価の下落は異常事態だと思います。米価が下がれば離農が急激に加速し、結果的に国は”食料の生産能力”を低下させることになると思います。もう手遅れ感はあるが、米価の下支えとなる可能性のある備蓄米の買戻しが急務だと思います。

・政府の備蓄米買い入れを増やさないと流通業も生産者も持ちません

・8年産米より7年産米を備蓄米買戻していただきたい。

米価格について

・販売価格の選択は 500 円以上～600 円未満ですが、8 月には 500 円未満にする予定です。大損ですが、致し方がないです。

・8 月 9 月の天候次第と、備蓄米の買い戻しの有無で状況が変わるかもしれない。
・仕入価格はあまり変わらないのにスーパーの価格が大幅に下がっており売上が大幅に減少しており先行きが見通せない状態です。

・価格競争が大変 今の業務用の平均価格が知りたい

・暴落で業務用は月 2 回くらい価格改定してます

・大幅な仕入れ価格の高騰により 販売価格が高騰しお米離れも加速し お米が売れず先行きが見えない

・損切りできる体力がない。

・県外業者等が安価な価格で量販店・業務店等に納品をしており販売量・価格ともにさがっている 契約が重荷となっている

・7 年産はとにかく高すぎた。なので 8 年産に先安感があるのは歓迎だが大暴落して前の安売り合戦になってしまうのは正直好ましくない。せっかく小売、業務用ともにある程度の値上げができたのだから、個人的には「農家さんが再生産できる価格、米はもう一昔前の価格には戻らない」で良いと思う。

・価格の安定が重要だと感じています。3 者がそれぞれに適正な利益を取れる環境が望まれます。8 年産は 7 年産を繰り返さない取り組みが必要です。

・1 俵当りの経費が 20500 円と発表したが、それを下回る金額（宮崎県は買取価格）の提示はあり得ないことだと思います。来年の米の作付面積は一気に半減し又高騰するかもしれませんね。

米の在庫について

・高い価格の契約玄米をたくさん抱えています。値引きしても在庫で残しても赤字決算は避けられそうにありません。米価格の乱高下のあおりを食らってしまった米屋はたくさんあると思います。

・市場に米が溢れて損切りが激しいこのままではもたない米屋もあると思う何とかならないかな

・6年産米の不足で苦勞したので7年産米を農家庭先での集荷も含め例年以上に買い込んだ結果大暴落で経験の無い差損を出しながら在庫処理をしている。

経営について

・厳しい環境ですが、米屋だけが厳しいわけではないと思うので、お客様に選ばれるように知恵や工夫、行動力で乗り越えましょう！

・調査1で変わらないと回答したが、去年は売るお米が入荷できなかった。今年は単純に春先から続く量販店等での安売りやお米の消費量の減少により、変わらないと答えたが、体感的に出る量は減っている。ネット通販では2kgと5kg入れが良く出るように感じる。7年産は高すぎた。今年の春前から在庫処分で安く出す業者がいて、去年納品のお米を切らさず面倒を見ていたuchiのお得意先も数件減った。

・自由な意見です。新米価格が7年産より安くなった場合、又は玄米購入がない場合、農家さんにとって打撃が大きく、離農が更に進む。数年後の米社会はどうなるのか不安です。農家救済をせず、外米に頼る事もあるのでは？消費者にとっては安価が理想だが、利益のない生産者をこのままにしてよいのか？生産者基準の価格を安定して流通させるためには国が補填するか、消費者に理解してもらうか。後者が理想だが策が見つからないです。自由な意見で失礼しました。

・断末魔状態…後がない

・売上が下がっていく中どのように利益を残していくか模索中

令和8年産米について

- ・日照不足で、稲の生育が遅れていて、今後の高温障害で収穫減&低品質が懸念されます

- ・8年産は非常に難しい年になりそうです。価格の変動を見ながら慎重に行動しようと思っています。ただし、5年先の状況を予想しながらの行動となります。

- ・今年の新米は,価格を決めてから仕入れるようにする。